



平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月4日

上場取引所 大

上場会社名 神島化学工業株式会社

コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 小田島 晴夫

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 平成24年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第1四半期の業績(平成24年5月1日～平成24年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第1四半期	4,061	△5.0	136	△40.4	106	△44.9	61	△58.1
24年4月期第1四半期	4,276	—	229	—	193	—	146	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第1四半期	6.70	—
24年4月期第1四半期	15.97	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第1四半期	16,734	—	4,241	—	4,241	25.3
24年4月期	16,287	—	4,273	—	4,273	26.2

(参考) 自己資本 25年4月期第1四半期 4,241百万円 24年4月期 4,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年4月期	—	—	—	—	—
25年4月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年4月期の業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,600	△2.3	280	△37.0	200	△45.1	120	△50.8	13.09
通期	17,600	3.8	410	0.0	250	△0.6	140	39.8	15.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年4月期1Q	9,240,000 株	24年4月期	9,240,000 株
25年4月期1Q	76,627 株	24年4月期	76,419 株
25年4月期1Q	9,163,477 株	24年4月期1Q	9,166,767 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による復興需要などを背景として、企業収益や個人消費も一部持ち直しの兆しが見えたものの、欧州債務危機問題や電力不足、長期化する円高・株安の懸念などにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場におきましては、東北地区を中心とした復興需要や、政府による住宅取得促進策の下支えもあり、持ち直し傾向にあります。

このような経済・経営環境の中、売上高につきましては4,061百万円となり前年同四半期比214百万円(5.0%)の減収となりました。

損益につきましては、営業利益は136百万円と前年同四半期比92百万円(40.4%)、経常利益は106百万円と同86百万円(44.9%)、四半期純利益は61百万円と同85百万円(58.1%)の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

建材事業におきましては、昨年の震災による一時的な需要が解消したことから、売上高は2,793百万円と前年同四半期比313百万円(10.1%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は49百万円と同133百万円(72.8%)の減益となりました。

他方、化成品事業におきましては、国内需要が堅調に推移したことから、売上高は1,268百万円と前年同四半期比98百万円(8.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)も190百万円と同42百万円(28.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の総資産は16,734百万円となり、前事業年度末(以下前年度)に比べ446百万円増加いたしました。このうち、流動資産は9,131百万円と前年度に比べ194百万円増加いたしました。主な増減要因は、現金及び預金が381百万円増加したことによるもの、前期末日が休日であったことなどから受取手形及び売掛金が199百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は7,603百万円となり前年度に比べ252百万円増加いたしました。主な増減要因は、有形固定資産が296百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、7,499百万円と前年度に比べ526百万円減少いたしました。主な増減要因は、前期末日が休日であったことなどから支払手形及び買掛金が576百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、4,994百万円と前年度に比べ1,005百万円増加いたしました。主な増減要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計4,241百万円と前年度に比べ32百万円減少いたしました。主な増減要因は、その他有価証券評価差額金が38百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年6月12日に公表いたしました平成25年4月期の第2四半期(累計)の業績予想につきまして修正いたしました。なお、平成25年4月期通期の業績予想につきましては、景気の先行きは不透明であり、今後の動向を慎重に見極める必要があることから、前回発表予想を据え置いております。詳細につきましては、本日公表の業績予想の修正に関するお知らせをご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年5月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,547	1,929
受取手形及び売掛金	4,063	3,864
商品及び製品	1,937	2,010
仕掛品	569	572
原材料及び貯蔵品	536	528
繰延税金資産	198	150
その他	92	84
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	8,937	9,131
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,184	2,276
機械及び装置(純額)	1,954	2,035
土地	1,250	1,250
その他(純額)	1,038	1,162
有形固定資産合計	6,427	6,724
無形固定資産		
	31	26
投資その他の資産		
投資有価証券	507	466
繰延税金資産	299	308
その他	92	79
貸倒引当金	△8	△2
投資その他の資産合計	891	852
固定資産合計	7,350	7,603
資産合計	16,287	16,734

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,087	2,511
短期借入金	1,850	1,830
1年内返済予定の長期借入金	1,754	1,791
未払金	658	602
未払費用	194	204
賞与引当金	198	88
設備関係支払手形	165	329
その他	115	141
流動負債合計	8,025	7,499
固定負債		
長期借入金	2,905	3,886
退職給付引当金	838	867
役員退職慰労引当金	74	75
その他	170	165
固定負債合計	3,988	4,994
負債合計	12,014	12,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,078	1,078
利益剰余金	1,915	1,922
自己株式	△26	△26
株主資本合計	4,287	4,293
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13	△52
評価・換算差額等合計	△13	△52
純資産合計	4,273	4,241
負債純資産合計	16,287	16,734

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)
売上高	4,276	4,061
売上原価	3,105	2,957
売上総利益	1,171	1,104
販売費及び一般管理費	942	967
営業利益	229	136
営業外収益		
受取配当金	9	9
破損損害金	4	3
雑収入	3	7
営業外収益合計	17	19
営業外費用		
支払利息	42	40
雑支出	9	8
営業外費用合計	52	49
経常利益	193	106
特別損失		
固定資産除却損	5	—
固定資産処分損	4	—
特別損失合計	9	—
税引前四半期純利益	183	106
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	34	42
法人税等合計	37	45
四半期純利益	146	61

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,106	1,169	4,276	—	4,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,106	1,169	4,276	—	4,276
セグメント利益	183	148	332	△103	229

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△103百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△103百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,793	1,268	4,061	—	4,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,793	1,268	4,061	—	4,061
セグメント利益	49	190	240	△104	136

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△104百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△104百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。